

三、會社側ノ態度

會社側ハ昨七日午後二時ヨリ専務取締役加納共四郎
支配人小島潔以下各幹部会合協議ノ結果豊田勝利外
二名ニ對シ午後七時書留郵便ヲ以テ解雇通知ヲ發シ
ルト共ニ眞空管部職工二十名ヲ以テ臨時休業ノ旨通
知書(行レズ別紙)如シテ發シテ上散會セリト

社及申(通)報候也

日本無線電信電話株式會社の労働組合破壊より生じたる

傷害事件ノ真相を發表シ市氏諸君ノ同情を乞ふ

日本の代表的資本家大倉高事會社の門野重九郎氏を社長に載り元大倉組外務課に
在った加納共四郎氏を専務取締役とするに座下々改谷町に在る日本無線株式會社は數年未職長
ヤ形なる者が労働組合を迫る事なることを是認しヤ形は事毎に労働組合員に抗議し職権を以
つて従業員が組合に加入する事小倉直下ノ職首すと威嚇し又不都合も見分と稱して十數
名の腹心の者を擁して之に経済的利益をよへイカと云へば暴力を以て組合を破壊せしむるに
此の精神を以て去る一月二十四日共済會總會と同僚等共は是解する見分と稱して出立し彼が會
長に告げせざるに地をせす、誠事を妨害せしむるに之を制止せらる組合員に携つて掛り該場
は大混乱となつた、併し此時は該長の仲介で事無く済つた、其翌日彼の兇分大仲は組合幹部
池と僅かの事、口論に及んだ、三、四、見分酒井が金鎧を持つて池に寄りつけ眉間に際々骨膜に微
し長十三寸の傷をさせたる為め工場は大混乱となり酒井も亦傷する処となつた、

此の事件は二月二日會社がヤ形に職を解せしめ充分監視することを以て、田中解決した、
其後ヤ形池、吉田が組合加入を要求したと云ふ一庇理屈を以て兇分十八人に総辭職をせしめ、會
社に池、吉田を解雇すべしと要求した、會社が不都合見分と稱する辭職を以て事な、要求を直ちに
受け入れて十八名を呼び戻して置いて池吉田を別々に呼びつけ「お前會社を解して回金(一掃)はか
金は返分にやる」とシトキ落さんとしたのである、諸君労働組合は、金で人を賣買するが如き不潔な
る精神はミジンも持ち合は、二人は労働組合に拒絶してしまつた、其後會社は甘言を以て組合幹部を
封閉せしめたが全組合員が之に反對し會社の卑劣さを痛叱したため、シヤムニ池吉田を職首
としてしまつた、全組合員は、此の横暴此の不当解雇を責め幾回となく文書を續けるも濃くこたへ
不益々組合員として憤慨せしめるばかりであつた、去る五日池が交債に會社の事務所に行きや麻
務課長宮野氏はイキナリ池を呼び、出でんとしたため其場に糾かれたが、立ちあがつて外に出るや、
ヤ形が持つて暴言を吐いたため、早急留レられた池は剣にあらたかニス職を持つて彼を撲つて負傷せしめた、